

SUGAO GAKUEN

ELEMENTARY SCHOOL 2026



菅生学園初等学校

東海大学菅生高等学校中等部系列校

学校法人菅生学園 東海大学菅生高等学校 / 東海大学菅生高等学校中等部

www.sugao.ed.jp

豊かな自然の中で
さまざまな体験を通して
子どもたちの「感動」が生まれます。





12年間一貫教育の概要

21世紀の変化は人間により高い能力を求めています。まず、土台となるのがコンピューターを使うスキルとコンピューターでデータを分析するスキルです。この能力の上にさらに

- ①未知のものに立ち向かう力
- ②他者と協働できるコミュニケーション力
- ③自分の意見を構築する力
- ④英語を自在に操れる力

が必要です。菅生学園は、これらの力を習得するためには初等教育と中等教育を連結した12年一貫教育のしくみが有効であると考えます。



生きる力を育み、 新たな社会を切り拓く人材を育成します

2006年に初等学校を設立したことによって、菅生学園は初・中・高がそろった総合学園になり、一貫教育の体制が整えられました。それから早くも10年を超え、初等学校は一貫教育の要となり、菅生学園でも重要な教育機関となっています。子どもたちは、自然に囲まれた広大なキャンパスでのびのびと学校生活を送り、豊かな感性を身に付けています。また、コロナ禍においても、いち早く導入したオンライン授業により、確かな学力を身に付けています。現在、先の見えない時代と言われていますが、こうした時代においても、生きる力を育み、新たな社会を切り拓き、活躍できる資質が日々培われていると確信しています。



菅生学園理事長
島田 幸成

教育理念「歩き 考え 学ぶ」を 大切にする学校

小学校時代は、学びと人格形成の基礎を構築する大切な時期です。本校の豊かな自然環境の中でのさまざまな体験から生まれる「発見」や「感動」こそが思考や人格形成の出発点です。

本校が「自然が、教科書だ」を建学の精神としているのは、豊かな自然環境の中での友人との「歩き 考え 学ぶ」の繰り返しが「学ぶ楽しさ」と「豊かな人間性」を育むと考えるからです。「学ぶ楽しさ」を知れば、それを究めようとする探究心が生まれます。探究心の積み重ねを友人と共有する学びこそが豊かな「知識の引き出し」と「より良い人格」を形成します。それらは、中等教育以降の学習と生活の大切な基礎となるのです。



菅生学園初等学校 校長
布村 浩二



ゆたかの時間

菅生の自然環境を活かした さまざまな体験学習

生活、総合の時間を活用して全校体制で毎週2時間“ゆたか”の時間を特設しています。この“ゆたか”では、菅生の自然環境を活かしたさまざまな体験学習を進めます。里山の四季折々のいろいろな生き物や植物に触れる中で、子ども達の探究心をふくらませ、豊かな心と自ら学ぶ力を育みます。

東海大学教授による「ゆたか」の授業

東海大学教養学部の藤吉正明先生をお招きし、専門性の高い特別授業を行っています。草花遊びや鯉川の生物調査を通じて、楽しみながら里山の動植物や生態系についての理解を深めています。

藤吉 正明 教授

専門分野

植物生態／植物民俗／自然教育・教材開発

現在の研究課題

菌根の生態学的機能に関する研究
里地里山の生物保全と教材開発

研究内容

環境問題を解決するためにも、自然生態系の仕組みを理解するとともに、自然環境と社会環境が融合した地球生態系の持続可能な方向性を考える必要があります。そこで、学生の自然および社会に対する意識を高めるために、野外での自然観察や人と自然とのかかわりを考える展示などの啓蒙活動を行っています。また、植物の利活用（衣・食・住・遊）を通して、教育現場で活かせる教材の開発も進めています。



小松 佑将 教諭 2級ビオトープ計画・施工管理士



学校を一步出れば広がる里山の自然。こうした恵まれた環境の中で、本校の教員が一つになり、地域や自然に根ざした体験活動をつくり上げてきました。子ども達は目を輝かせながら、川の水や生き物に触れたり、自らが育てた野菜を食したりしてたくさんの発見や考察をしています。ここで生まれた興味関心が、彼らの知識や知恵の引き出しになり、豊かな人生を歩んでいくことを信じています。

環境教育 SDGs

SDGs (Sustainable Development Goals=持続可能な開発目標) には17のゴールがあります。これは先進国も途上国も、国も企業も個人も、みんなで協力してより良い未来をつくろうと国際連合で決めた17の目標です。

菅生学園初等・中等・高等学校には共通する教育目標に「自然環境教育」「国際理解教育」があります。一人ひとりが今できることは何かを考え、自分たちで未来を創っていくことにチャレンジする学習です。

過去の授業例 各学年の主な活動	
1年	里山・鯉川探検（春・夏・秋・冬）、しいたけ植菌（4月）、夏野菜の栽培（5～7月）、冬野菜の栽培（9～11月）、サツマイモの収穫と焼き芋大会（11月）
2年	里山・鯉川散策（春・夏・秋・冬）、竹の子掘り（5月）、鯉川ザリガニ捕獲作戦（6月）、夏野菜の栽培（5～7月）、冬野菜の栽培（9～11月）、竹内牧場見学・写生（10月）、サツマイモの収穫と焼き芋大会（11月）
3年	東海大学藤吉先生特別授業【里山・鯉川の生物調査や草木染め等】（毎学期）、里山・鯉川散策（春・夏・秋・冬）、夏野菜の栽培（5～7月）、冬野菜の栽培（9～11月）
4年	東海大学藤吉先生特別授業【里山・鯉川の生物調査や草木染め等】（毎学期）、鯉川の生物調査（春・夏・秋）、大豆の栽培と味噌づくり（年間）、タデアイの栽培と藍染め（5～7月）、へちまの写生（9月）、江戸東京野菜「高倉大根」の栽培
5年	鯉川水質調査（年間）、稻作・米づくり（年間）、稻穂の写生（9月）、味噌の開封（12月）、里山の環境について考える（2～3月）
6年	各自によるゆたか研究の調査・発表（年間）、たまねぎの写生（6月）、縄文土器の制作・野焼き（7～11月）



国際教育

アウトプットとインプットの バランスを大切に

より生活に密着した英語力、文章で出てくるような英語ではなく日常会話のような英語を身につけます。単語ではなく2、3語くらいの日常的な慣用句、教科書に出てこないフレーズなどもたくさん吸収していきます。

国際教育プログラム

本校では、実践的な国際教育を重視し、外国人との交流機会を積極的に設けています。そうした活動の中で、子どもたちは異文化理解を深め、世界標準の視点を養います。また、これにより英語学習への意欲も高まります。国際理解教育では、自国の文化発信を重要視しています。6年生の修学旅行での京都・奈良訪問や、1年生から通年の茶道体験を通じて、日本文化への理解を深め、発信力を養います。異文化理解と自己文化理解、この両輪で、グローバル社会で活躍できる人材育成を目指しています。



菅生学園の国際教育

▶菅生学園初等学校

オーストラリアホームステイ／ブリティッシュ・ヒルズ体験学習／横田基地メンデル小学校との交流／TGG（東京グローバルゲートウェイ）での体験学習

▶東海大学菅生高等学校中等部

オーストラリア語学研修／横田基地ミドルスクールとの交流／TGG（東京グローバルゲートウェイ）での体験学習

▶東海大学菅生高等学校

オーストラリア語学研修／海外交換留学制度／東海大学主催海外研修制度／横田基地ハイスクールとの交流

▶東海大学

ハワイ東海インターナショナルカレッジ（HTIC）（左記を卒業後、ハワイ大学へ編入できます。）

British Hills

ブリティッシュヒルズ体験学習

4・5年生の希望者を対象に、オーストラリアホームステイの事前学習として2022年度からスタートしました。ブリティッシュヒルズはスコットランドのハイランド地方に近い風土を持つ福島県の山奥にあり、建築資材は全てを英国から取り寄せ、建築様式からインテリアに至るまで本格的な英国文化を体験できます。2泊3日の英語研修では教科横断型を意識した授業がたくさんあり、英国式書写やスコーン作り等を通して楽しく英語を学べます。また、本格的なコース料理を堪能しながら、テーブルマナーの作所を学ぶことができるのも特徴です。楽しみながら自然に英語が身につき、日々の学習にも良い影響を与えます。



オーストラリアホームステイ

5・6年生の希望者はブリティッシュヒルズでの研修の翌年に、約7日間のオーストラリアホームステイに参加することができます。ホームステイ家庭の児童と一緒にシドニー近郊にある小学校に登校し、現地の授業に参加します。現地での生活は新しい体験ばかりで、食習慣や文化の違いもたくさん感じることができます。言葉だけではなく、現地の人々の考え方や文化を肌で感じることができる貴重な体験になります。また、学園の中高生と一緒に参加し安心できるというのも、本校のホームステイの特長です。

DMM 英会話

自由選択制特別講座 DMM英会話

英語教育改革において英語の習得に加え、それらを活用し主体的に課題を解決するために、英語教育の充実・強化が求められています。こうした流れの中で、「読む」「書く」「聞く」「話す」を活用したコミュニケーション力の育成が重視され、2020年からは大学入学共通テストもこの4技能を評価する方向に変わりました。DMM英会話なら毎日25分、3年間で約456時間の英語学習時間を確保できます。

Lepton

子ども英語教室“レプトン”

レプトンは英語の4技能がバランス良く学べる自立型学習です。幼稚園児から学べるカリキュラムと段階別の全81冊のテキストを使って各自のペースで学習します。テキストでは総単語数8,000語以上を取り扱い、英語検定も2級まで対応しています。ご自宅でも家庭学習用のオンライン教材があり、iPadやパソコンからログインして、eラーニングとして復習することができます。

小峰 泰介 教諭 小学校英語上級指導者+(プラス)J-SHINE認定資格

学園のミッションであるグローバル人材育成のため、さまざまな英語教育を展開します。その一つとして5・6年生の希望者対象に6泊7日のホームステイを実施し、オーストラリア・シドニーにある姉妹校での授業やアクティビティを経験します。1年生からの英語学習や横田基地内のメンデル小学校との交流で培った英語力を試し、眞の国際人となる素地を育てます。



プログラミング授業

身の回りの課題を解決する力を育てる

本校では一般社団法人イエローピンプロジェクトやAKKODiSコンサルティング株式会社と企業提携し、共同でカリキュラム開発を行っています。また、他教科と関連した取り組みを行い、低・中・高の発達段階に応じた独自のプログラミング授業を実施しています。こうした活動を通して、SDGsの諸課題を身近な問題に置き換え、課題解決に向けて論理的に思考する力を養います。



菅生プログラミングの概要

低学年の授業ではロジカルシンキングツールを活用し、情報を分類・整理する活動を通して論理的思考力の基礎を身に着けます。また、プログラミングスキルの基礎を学びながらプログラミング学習の楽しさを学びます。中学年ではアプリケーションを使ってミッション課題に取り組みます。ブロックプログラミングのスキル向上を図りながら、物事の動作を細分化し、順序立てた考え方を身につけます。こうしたプログラミングスキルを使い、SDGs「海の豊かさを守ろう」について考える学習にも取り組んでいます。高学年では世の中のIT技術について学び、ロボットプログラミングや機械学習を通して、人やモノを動かす時のインプットとアウトプットのメカニズムについて学びます。IOT技術を使ったプログラミングにも触れることで、SDGsテーマにおける社会課題に対してDX的なアプローチで課題解決型学習に取り組み、社会の中で活躍できる人材の育成を目指します。



主な授業例

1年	ロジカルシンキング学習、ScratchJrの基本操作、アニメーション作成
2年	ScratchJr応用課題、Scratch導入、鯉川のアニメーションを作ろう（ゆたか）
3年	課題学習「障害物回避ゲームを作ろう」「自分の名前を書こう」、旋律の特徴を考えよう（音楽）
4年	ペアプログラミングで作品を作ろう、ロボットプログラミングの導入、プログラミングでSDGsを考えよう「海洋漁業について」、都道府県の特色を調べよう（社会）
5年	センサー学習「障害物を回避して進もう」「ラインコースを走ろう」、機械学習、プログラミングでSDGsを考えよう「海洋資源について」、多角形について考えよう（算数）、オリジナル旋律を作ろう（音楽）
6年	IOTの仕組みを使ってプログラミングを組もう、SDGs課題の解決に向けて「ハッカソン課題」（ゆたか）、拡大図について考えよう（算数）

特別活動

真のリーダーを養成する

問題が複雑化している21世紀においては、他者と協働できるコミュニケーション力が不可欠です。そのため本校の特別活動では普段の学級活動や委員会活動に加えて、さまざまな縦割り班活動を行っています。

学級活動

学級や学校生活についての議題を自分たちで話し合い、合意形成します。こうした学級会を通して役割分担を決め、各々が責任を持って取り組みます。また振り返りを行い、よりよい学校生活へつなげていきます。



委員会活動

代表委員会をはじめとする7つの委員会に分かれます。それぞれの委員会でどのような学校にしたいかを話し合い、企画を実践します。また、運動会や菅生祭などの運営にも携わり、学校行事を盛り上げていきます。



縦割り班活動

毎学期の全校遠足や縦割り大掃除&給食、また時節に合わせた集会などを行います。その活動の核となる縦割り班会議は毎月行い、学年の枠を超えた活動の中で、主体性や自己実現を図ろうとする態度、譲る心、忍耐力を養います。



主な縦割り班活動について

1学期	1年生を迎える会、1年生と遊ぼう週間、全校遠足（昭和記念公園）、七夕集会、縦割り班大掃除、縦割り班給食
2学期	縦割り班遊び週間、ハロウィンデー、全校遠足（御岳山）、わくわく科学教室、感謝の集い、縦割り班大掃除、縦割り班給食
3学期	節分集会、6年生を送る会、全校遠足（新江ノ島水族館）、縦割り班大掃除、縦割り班給食



教科目標

国語

読解力・対話力を基盤に、「話す・聞く」「読む」「書く」のバランスのとれた学習を行います。音読・朗読・暗唱・討論など、多様な活動を通して、言葉への興味関心を深めます。週2時間の漢字学習では、学年目標達成を目指し、漢字検定受験を通して達成感と学習意欲を高めます。多面的な学習活動を通して、自ら学ぶ力を育みます。

算数

自ら考え、判断し、課題を解決する能力と協調性を育みます。低学年では具体物を使った体験学習で基礎を固め、中学生からは習熟度別で深い学びを促します。チームティーチング（1・2年生）や習熟度別授業（3年生以上）など、一人ひとりの成長に合わせた指導で、学びの喜びを育みます。



村田 隆一 教頭

本校では、低学年から学習習慣を確立し、基礎力を養います。算数では、一人ひとりのレベルに合わせた指導で、確かな学力を育みます。学ぶ楽しさを大切にし、中学・高校の難関大学受験にも繋がる質の高い教育を提供します。メリハリのある授業で、意欲を引き出し、自ら学ぶ力を育みます。

英語

コミュニケーション能力と国際感覚を育みます。低学年から音読やチャンツで基礎を固め、中学生ではCLIL（内容言語統合型学習）を取り入れ、英語で学ぶ楽しさを体験します。iPadを使ったプレゼンテーションなど、表現力を養います。高学年では、海外研修など、実践的な英語力を身につける機会を豊富に設け、グローバルな人材育成を目指します。

理科

子どもたちが主体的に実験や観察を行い、探究心や命を大切にする心を育てます。中学生では植物や昆虫の飼育、身近な生物の観察を通じて生物の成長や構造を学びます。また、実験を活用した工作や発展的な学習で思考を深めます。高学年では条件を実験や調べた内容を整理し、論理的に説明する力を育成します。

社会

「なぜ?」「どうして?」から、社会への興味を広げます。身近な地域から、国、世界へと学びを深め、多様な視点から物事を捉える力を養います。中学生では地域社会、高学年では地理・歴史・公民を学び、社会的な見方・考え方を深めます。工場見学や新聞作りなど、体験学習を通して、自ら判断する力を育みます。

音楽

「音楽で表現したい！」という気持ちを大切にし、基礎を固めながら、表現力を育みます。友達と協力して楽曲を作り上げ、発表の機会を設けることで、音楽の楽しさ、協調性、表現力を総合的に育みます。学年発表や音楽祭など、発表の機会を設け、自信と達成感を味わえるよう支援します。

図工

造形遊びや共同制作などの造形活動を通して、豊かな想像力と創造性を育みます。自分で作り出す喜びを味わいながら、友達と協力し、個性を尊重し合うことを学びます。学校周辺の自然を題材に、観察力と表現力を養い、小・中合同の美術展など、作品発表の機会を通して、自信と達成感を得ます。

体育

専門の先生が運動の楽しさを教えています。運動を通して、心身ともに健康な子どもを育みます。運動会など、集団で協力する活動を通して、協調性やルールを守る大切さを学びます。健康な体と豊かな心を育み、社会性を身につけ、楽しい学校生活を送れるよう、体育の授業に取り組んでいます。

道徳

「どうしてそう思ったんだろう?」——子どもたちは、物語の登場人物の生き方を通して、自分自身の生き方（考え方や言動）について深く考えます。普段の自分を振り返り、より良い生き方とは何かを考え、話し合います。教材との出会いが、子どもたちの心を育み、成長へつながるよう授業を進めます。

1年生の時間割 (2024年度)					
MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
算数	国語	算数	英語	国語	体育
体育	図工	算数	国語 漢字	算数	学活
国語 漢字	図工	音楽	体育	音楽	ゆたか
おびタイム					ゆたか
国語	算数	国語	国語 書写	道徳	
英語	国語	ゆたか	国語	英語	

ゆとりある学校生活を送れるよう4校時に「おびタイム」を設定しています。「おびタイム」では学習の補充や係活動、行事に向けた準備や振り返りなどを行います。**2026年度より週5日制実施。**

週5日制・週27～30時間授業

確かな学力の獲得のためには授業時間の確保は欠かせません。そのため学年の発達段階を考慮しながら学習時間増を図り、一人ひとりに応じた学力補充・定着・発展を進めています。

日本漢字能力検定試験
合格率100%

漢字学習

「ことばの力」を重視する中でも「漢字の学習」に力を入れています。漢字を「読む」「書く」だけでなく、漢字辞典を使いながら、漢字の意味を理解し、文章の中で適切に使いこなす力をつけています。週2時間を漢字に配当し、その成果を測るために漢字検定を受験しています。

ICTを活用した授業

電子黒板やタブレットなどのICTを積極的に取り入れています。一人ひとりが考えた答えを共有したり、調べ学習をしたり、ロイロノートを使って発表したりしながら、子ども達の「主体的に学ぶ力」「友だちと協働する力」「自分の考えを表現する力」を伸ばしています。

きめ細やかな指導

個性を大切にしたアットホームな雰囲気の中で、インターラクティブな授業を多く取り入れ、児童の積極的な参加を促す学習を行っています。児童は相互に刺激し楽しく意欲的に高め合う授業から、表現力やコミュニケーション能力が磨かれ主体性が身についています。

茶道の授業

日本の伝統文化である茶道を通して、正しい所作を学び、躰や人間としての生き方を身につけます。本格的な茶室で、時候に合わせた道具に囲まれ、茶葉子や抹茶をいただきます。いつもは元気な子ども達も、静かに落ち着いた時間を過ごしています。





給食室より

給食を作るうえで心掛けていることは、見た目に「美味しいそつ」と思ってもらえるような彩りです。おなか一杯食べても、午後の授業を元気に受けられるように給食の量にも配慮しています。児童たちが「菅生Farm」で育てて収穫した旬の野菜も大切に調理しています。自分たちで作った野菜がとても美味しいと実感してもらいたいです。美味しい食べて大きく育ってほしいと思います。



菅生の生活

L I F E E A T S U G A O G A M E S

菅生の一年

学校生活を通じて新しい自分を発見し、成長していきます。

4月	始業式／入学式 一年生を迎える会 しいたけ植樹体験 はたらく消防の写生会	7月	七夕集会 終業式 宿泊体験 (3-4年生:嬬恋グリーンスクール)	10月	菅生祭 芋掘り体験(1・2年生) TGG英語体験学習(3・4年生)	1月	始業式 もちつき大会 書き初め大会
5月	全校遠足 運動会 たけのこ掘り	8月	サマースクール	11月	焼芋大会 全校遠足 マラソン大会	2月	劇と音楽の会
6月	ホタル鑑賞 「ホタルのタペ」 京都・奈良修学旅行(6年生)	9月	始業式 TGG英語体験学習(5・6年生)	12月	国際交流(4年生) 宿泊体験(3-4年生:嬬恋スノースクール) 終業式	3月	お別れ遠足 6年生を送る会 修了式 卒業式



教育環境

E D U C A T I O N A L I N F R A S T R U C T U R E

緑豊かな自然に囲まれて先生と子ども達との信頼、子ども達同士のきずなが「やさしさ」と「強さ」を育み深まります。

「学びの城」は時代を担う人材を育てます。

高台にそびえる広大なキャンパス「学びの城」

地上6階・地下2階からなり、付属中等部と高等学校（医学・難関大コース）を併設する本校の校舎。キャンパス全体の広さは、東京ドーム約1.2個分。ゆったりとした環境の中で学ぶことができます。思い出や友情を刻む学校生活がここからスタートします。

セキュリティ対策

ICカードによって登下校の様子をリアルタイムで保護者にメールでお知らせします。災害時被災報告システム「CoCoねっと」にて、台風・降雪などによる登下校の情報を随時配信します。また、全校児童3日分の水・食料を備蓄しています。毛布、手動ラジオ、懐中電灯、テント式トイレなど53項目にわたる防災グッズを備えています。さらに、防災訓練を年4回実施しています。特に9月の総合訓練では消防署と連携し、中学生高校生、地域の方々と合同で行っています。



菅生の一周年

朝のウォーキングタイムや午後のアフタースクールなどメリハリのある生活リズムの中で学習に励みます。

8:00 ~ 8:25	登校時間
8:25 ~ 8:40	ウォーキング・読書
8:50 ~ 9:35	1校時
9:45 ~ 10:30	2校時
10:30 ~ 10:50	中休み
10:50 ~ 11:35	3校時
11:35 ~ 12:20	給食と昼休み
12:20 ~ 12:30	スキルタイム
12:30 ~ 13:15	4校時
13:25 ~ 14:10	5校時
14:15 ~ 15:00	6校時
15:00 ~ 15:20	掃除と帰りの会
15:45 ~ 16:45	すがめき-F 放課後に行われる学びの時間
15:30 ~ 19:00	すがめき-S 学童保育

アフタースクール

すがめき-F（ファースト・ステージ）

月曜日から金曜日の放課後に行われる学びの時間です。三つの分野（25種目）からの学びの充実を図り個々のニーズに応じて、種目を自由に選ぶことができます。

STUDY

レブトン（英語教室）/レベルアップ国語/基礎からの算数
レベルアップ算数/サイエンスフロンティア/テラス速読

LESSON

ROBOT&プログラミング/パソコンサクセス/RBそろばん
すがめきPiccolini（音楽）/すがめき合唱団/表千家茶道
キッズ・アート/アート&クラフト/東山流 日本舞教

SPORTS

FC SUGAO/KFダンスクラブ（チアダンス）
舞城のどかパンエスタジオ/秋川文化スイミングスクール

すがめき-S（セカンド・ステージ）

放課後の児童の学習や遊びの場を提供しています。教職経験のあるスタッフがついて学習や楽しい実験などをして過ごしています。児童にはおやつも提供しています。長期休業中も開所しています。

Q すがめき-Fは費用がかかりますか？

A かかります。金額は種目によって異なります。（年間6,000円と12,000円の2種）なお、ユニフォームやそろばん等は個人購入となります。

Q 放課後は何時まで預かっていただけますか？

A すがめき-S（放課後児童預かり）により18時まで預けられます。なお、家庭の事情がある場合は最長19時まで預かりが可能です。



通学・アクセス



Q 通学区域、通学経路、通学時間教えてください。

A 現在あきる野市、青梅市、羽村市などの西多摩地域や八王子市からも多く児童が通っています。また、通学時間については制限を設けておらず、埼玉や神奈川から通っている児童もいます。

Q 自動車での送迎は可能ですか？

A 可能です。現在、全校生徒の約1/2が保護者の送迎で通学しています。「学びの城」には200台の広い駐車場があります。

学校周辺道路



八王子駅・拝島駅までの所要時間

新宿駅→八王子駅(約40分)、
拝島駅(約45分)
吉祥寺駅→八王子駅(約30分)、
拝島駅(約40分)
国分寺駅→八王子駅(約20分)
拝島駅(約25分)
所沢駅→拝島駅(約30分)
町田駅→八王子駅(約25分)

路線バスからのアクセス

JR秋川駅北口より
西東京バス「菅生高校」行き 約11分
JR小作駅西口より
西東京バス「菅生高校」行き 約13分
「菅生」下車 徒歩5分

スクールバス

S C H O O L O L B U S U S

青梅コース	7:00	7:30			7:55	8:15	菅生学園初等学校
青梅駅	長淵	河辺駅	大門	藤橋	新町	小作駅	
昭島・拝島コース	7:15	7:25		7:45	7:55		
昭島駅		拝島駅		福生駅		羽村駅	
八王子コース	7:20	7:25					
八王子駅	京王八王子駅						
みなみ野・高尾コース	7:10	7:35			8:05		
八王子みなみ野駅		高尾駅				秋川駅	



スクールバスの運転手は菅生学園の職員で、児童の安全安心対策及び保護者との連絡体制に万全を期しています。また、アプリでバスの位置情報を確認することもできます。

※発着時間は変わることがあります

菅生学園初等学校

東海大学菅生高等学校中等部系列校

〒197-0801 あきる野市菅生1468 <http://www.sugao.ed.jp/>
TEL:042-559-9101 FAX:042(559)9120

公式サイト



交通案内

